

授業概要

学習指導要領では、特別活動を、その目標の中に「望ましい集団活動」という表現を用いることによって、集団活動を特質として規定している。これは、児童・生徒に対して、集団の一員としての自覚を深めさせるとともに、社会性をはぐくむことを目指しているからである。こうした理解を深めるために、学校における各活動について取り上げるとともに、実践的指導力をつけさせるための課題について考察する。

授業計画

第1回	授業をはじめるとあって（本授業の履修上の注意や教職における位置など）
第2回	特別活動とは
第3回	特別活動の目標と課題について
第4回	学級活動とは
第5回	児童会活動とは
第6回	クラブ活動とは
第7回	学校行事とは
第8回	奉仕活動など生活経験の拡大について
第9回	特別活動と生徒指導
第10回	特別活動の年間計画及び指導案の作り方
第11回	課題発表① 学級指導としてどんな活動があるか調査したことの報告
第12回	課題発表② クラブ活動としてどんな活動があるか調査したことの報告
第13回	課題発表③ 学校行事としてどんな活動があるか調査したことの報告
第14回	調査報告から見える、集団活動の成果と課題
第15回	全体のまとめ
第16回	筆記試験

到達目標

特別活動では、「望ましい集団活動」を通して、児童・生徒の発達と「集団の一員としてより良い生活や人間関係」構築のための能力を養うことが重要であることを理解し、実践的指導とは何かを自ら考察し、積極的活動を行なえるような能力を身に付ける。

履修上の注意

集団活動の体験学習として、実際に遠足や修学旅行の計画と行動を行ないます。このため、学外活動を数回行いますので、必ず参加すること。

予習復習

特に予習は求めませんが、スポーツなどのテレビ観戦を見た時、クラスでどんな応援ができるか、など考える習慣をつけてください。

評価方法

学期末の試験が六割、学期中に課す課題や授業での活動が四割で採点します。

テキスト

文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別活動編』